

2018年(平成30年)11月23日(金曜日)

市長「不正の認識ない」 補助金 職員処分を否定

三島市が事務局を務める「三島地域ブランド推進協議会」のイベント不足金を補填するため、市が協議会へ交付する補助金の目的を変更した文書の偽造などを行った問題で、豊岡武士市長は二十二日の記者会見で、「不正という認識はない」と述べ、関係職員の処分を否定した。

協議会事務局の市職員は文書偽造のほか、承認済みの協議会二〇一六年度決算を改ざん。文書偽造のつじつま合わせのため、渡辺義行市産業文化部長は昨年六月市議会で同年二月市議会の答弁の訂正もした。

市産業文化部は「事業完結に不足していた書類を整えた。決算は市補助金に算入できる経費を組み込み最

善の形にした」などと事情を説明した。これについて静岡大人文社会科学部の日詰一幸教授は「つじつま合わせに終始している」、静岡文化芸術大文化政策学部

の田中啓教授は「市民を納得させられない」と批判している。

だが、豊岡市長は「最終的に市議会が決算認定したので、市民の皆さんが認定したということになる」と主張。関係職員の処分については「そんな状況ではないと考えている」と答えた。(佐久間博康)

人口減対策など議論

三島市長選 出馬予定者が公開討論会

三島市長選(十二月九日告示、十六日投票)の立候補予定者による公開討論会が二十一日夜、三島市一番町の三島市民文化会館であった。出馬表明している三人がJR三島駅周辺の発展や少子高齢化問題、経済発展などをテーマに持論を語った。三島青年会議所が主催。現職の豊岡武士さん(七五)＝写真④、ともに新人で県議の宮沢正美さん(六八)

＝同⑤、会社役員石井真人さん(三三)＝同⑥が、聴衆約四百人を前に意見を交わした。

JR三島駅周辺の発展では、石井さんは「市庁舎の老朽化や財政問題を踏まえ、全体を考えないといけない」と指摘し、宮沢さんは「市の南口東街区の計画を見直し、県やJRと協議して南北自由通路の整備を基本に据えたい」と語っ



た。豊岡さんは「東街区の計画で手をこまねいていると開発業者が撤退しかねない。どうしてもつくり上げるのが重要だ」と述べた。

人口減少対策では、宮沢さんは「高齢者の生活支援や保育を充実させたい」と主張。豊岡さんは「働く場所をつくるのが大事」と述べ、石井さんは「若者が魅力を感じる企業づくりや働く母親の支援に力を入れた」と訴えた。(佐久間博康)